小須戸公民館報

発行 小須戸町中央公民館
〒956-0101
新潟県中蒲原郡小須戸町
大字小須戸117番地
TEL (0250)38－2234
FAX (0250)38－5210
編集 公民館報編集委員会

「今どきの若者は」と言うまえに

～大人と若者でつくる社会～

今年も小須戸町では「道徳教育推進事業」を実施することになりました。〝心の教育〟の主旨を生かした町ぐるみの活動を推進していきます。

この事業の基本方針の中に青少年問題も含まれています。そして、七月は〝社会を明るくする運動〟の強調月間になっています。

青少年の非行や犯罪など社会問題になっている今、若者をどう理解しどう向き合っていけばよいのでしょう。

若者のライフスタイルは大人にとって理解に苦しむもの。いつの時代も一緒です。

若者のライフスタイル

ルーズソックス、茶色く染めた髪、男性のロングヘアーなど。こうしたスタイルをした若者が多く見られますが、大人には皆同じ様に見えてしまいます。

しかし、若者達は一人ひとり工夫を凝らして個性を出しているようです。身につけている物一つにしても自分の好みに応じてアイディアを付け加え、流行の中にいても個性を大切にしています。

そして、携帯電話は必需品のようになりました。どこにいても友達と連絡が取り合える。そして連絡網は広く、会話だけでなくて、そこから欲しい情報をすぐに教えてもらえる。そんな点から若者にとって重宝な品物なのでしょう。

世代間のギャップは社会の常

今の若者はこの複雑な社会、多様な文化の中で育っています。それぞれの世代が違う社会、文化の中で育ってきました。

グループサウンズ、ミニスカート、ダッコちゃん人形が流行した時代に終戦直後の苦しい生活を経験した大人はどう思ったでしょう。

いつの時代でも社会の常として、大人は若者の世代を自分達の世代と比べれば、不思議なもので理解に苦しむと感じてしまうようです。

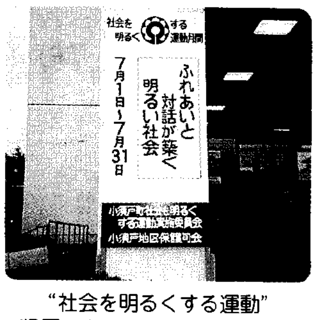
一人でいたい時は 一人でいたいもの

「学歴社会」という言葉が使われだした頃〝勉強部屋〟と称して、一人一部屋があたりまえのようになりました。

しかし、今は勉強するだけの部屋ではなく個人が自由に使える〝子供部屋〟となり「子供が自分の部屋から出ない。」とよく言われ、家族の関係が希薄になってしまったと心配されています。

しかし、大人だって一人でいたい。一人で好きなことに没頭したいという時があります。

子供も同じです。一人で考え事をしたり、誰にも邪魔されず好きな事に夢中になりたいものです。



“社会を明るくする運動”犯罪のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。

しかし、毎日の食事の際でも顔を合わせないようでは問題です。部屋にこもる習慣を解消するには子供や若者を引き付ける家族や地域社会をつくることが大切ではないでしょうか。

大人と若者が 信頼しあってつくる社会

では、どんな家族や地域社会をつくればよいのでしょう。それにはまず子供や若者が置かれている状況を知る事。そのうえで大人がしっかりと見守る事から始めてはどうでしょう。

高度で複雑な社会をになうには、より広い視野と教養を身に付けなければなりません。学校教育だけでは不可能です。大人がそうであったように、幼い頃の生活や遊びから、また青年に至るまでの多くの経験が役に立つのではないでしょうか。

そう考えると若者の行動を否定的にだけとらえる事はできなくなります。

若者がやりたいことや体験したいことを大人の固定観念だけで「だめ」とは言わず、暖かく見守ってあげましょう。

そして「どうみても間違っている。本人や社会のためにならない。」こんな時にこそ大人が手助けをしてあげればいいのではないでしょうか。

押し付けや抑制だけでは、若者はよけいに非行や犯罪に走ると思います。

「これからの社会をになう若者も大変だ。一緒にがんばろう。」とお互いを認め合い、信頼することが大切でしょう。

そこから大人も若者もお互い心地よい家庭、社会が築き上げられると思います。

> 小須戸町道徳教育振興会議では「道徳だより」を発行し、各種事業のお知らせや、いろいろな実践活動の様子をお知らせしています。
> 現在、No1～No4まで発行されています。

ちょこっと一言 (124)

モラル

矢代田三 増井育雄さん

矢代田、小須戸間の県道や農道の空き缶、空きビン、菓子袋のポイ捨ては…。

空き缶0(ゼロ)作戦の翌日にはもう目につきます。買った所で飲むなり、食べるなどして始末をすれば田んぼや道端に捨てなくても良いと思いますが。

県道と国道四〇三の交差点にある自動販売機のわきに屑籠があります。近くに屑籠があるのにそこまでさえ持って行かず、十メートル位の所にゴロゴロしているのはちょっと考えられません。中には傘まで捨てられています。

田んぼは日本人の大切な米を作るところで、空き缶、ビン、ゴミの捨場ではありません。

ガラスビンは農作業には大変危険ですので捨てないで下さい。

生涯学習意識調査 ご協力ありがとうございます

いつでも、だれでも、どこでも学習できる環境や支援体制を整えるために、生涯学習に係わる意識調査を実施しております。教育委員会で、20歳以上の方一、〇〇〇名を無作為に選ばせていただきました。該当する方には、すでに、郵送されているかと思います。ひとりでも多くの方のご意見をお待ちしております。

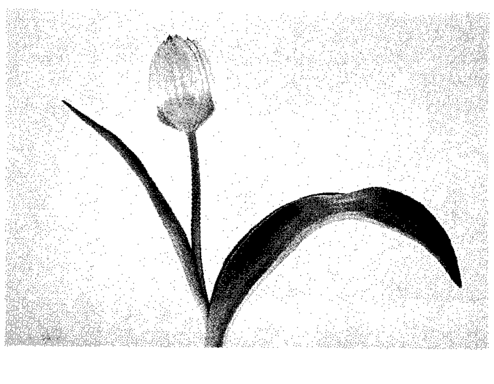
(アンケート締切期日7/31)

第五十三回 県展入選 おめでとうございます (2)

「松原遠く…」

竹石千鶴子さん
楽しんで誰にでも読める書を書きました。

「チューリップ」



風間忠雄さん
清潔感を出すように工夫しました。

「幽玄の杉林」

島倉秀衛さん
日の出を映しに行って、偶然に目の前に現われた景色。幻想的で、何度もシャッターを押してしまいました。

※県立新津南高等学校による「学校開放講座」を9月に開級します。
(詳細については、8月の館報でお知らせします。)

平成十年度「矢代田分館婦人学級」開級

料理教室から活動スタート！

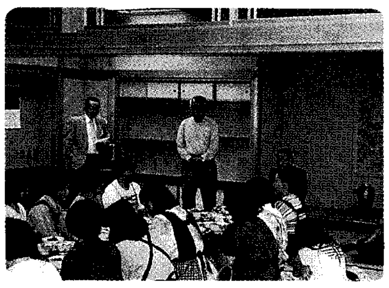
六月一八日（木）。ふれあい会館に於いて、平成十年度の「矢代田分館婦人学級」が開級しました。

料理、生け花、レクリエーションダンスなど内容豊かな婦人学級です。

いろいろな活動をしながら婦人としての必要な知識を得て、地域の中や家庭における役割を考えながら、婦人同士の連帯を高めることを目的としています。

第一回目は「簡単な手作り料理」。夏バテ、貧血防止を取り入れた四品を作りました。

熱心に料理作りをするご婦人方。その後の試食会が楽しみ。



「矢代田分館婦人学級」開級式。今後の活動もガンバッテください。

参加者は二十一名。調理室は動くにも一苦労するほどでしたが、皆さん熱心に調理していました。

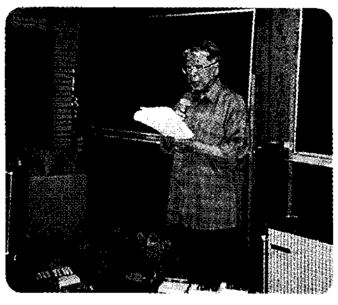
調理後、開級式が行われ、分館長さん、主事さん、そして中央公民館長さんから挨拶の後、さっそく試食会に移りました。

ご自分の作った料理を口にしながら、いろいろな話題が飛び交っていました。

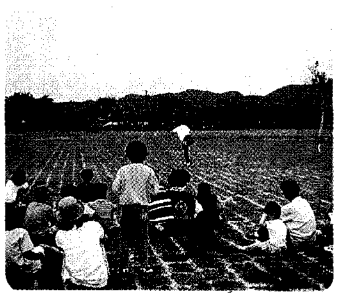
今後の活動も皆さんの横のつながりをより強めながら、女性のもつ優しさと明るさで地域や分館活動を盛り上げていただきたいと思います。

6月のナイスショット

12日　家庭教育学級「つくしんぼ」
親子そろって短冊づくり。願いがかなうかな。



12日　おもしろ雑学講座
チャンチキおけさを参加者と一緒に熱唱した講師の笠原誠さん。



13日　親子チャレンジ教室
様々なトリックを披露してくれた講師に参加者も大喜び。

催し物ご案内

◎八月のおもしろ雑学講座

日時　八月二日（日）
午前九時～十一時三十分

講師　木村宗文さん

テーマ　「小須戸町の文化財・遺跡めぐり」

※今回は、マイクロバスを利用しますので、参加したい方はあらかじめ中央公民館へ申し込みをお願いします。

・中央公民館前集合

・雨天決行

◎'98科学の祭典白根大会

実験、工作など楽しいコーナーがいっぱいです。

日時　八月五日（水）
午前九時～十二時

会場　白根市カルチャーセンター

対象　小中学生・一般町民

問い合せ先　白根地区理科教育センター
☎〇二五–三七二–二九二四

「スポーツ教室」
もう少し続けますよーっ！

六月からふれあい会館で開催されています「スポーツ教室」。

ソフトボール・ラージボール卓球など、様々なスポーツを楽しんでいただいています。

七月二日で終了の予定でしたが、参加者の皆さんからの要望で、もう少し続けることになりました。

七月十六日㈭・二十三日㈭も開催されます。皆さん気軽に足を運んでください。

スポーツ大会結果

第十八回町長杯争奪卓球大会
長沢富士夫さん（文京町一ー三）
十四年ぶり二度目のV！

六月十四日（日）。小須戸町町民体育館に於て開催されました。

（紙面の都合により個人Aだけを載せました）

＝男子個人A＝　（敬称略）

一位　長沢富士夫（文京町一ー三）

二位　横山俊樹（天ヶ沢一）

三位　厳政人（新町四）

＝女子個人＝

一位　加藤祐美（矢代田七）

二位　阿達智恵（矢代田六）

三位　白木麻美（新保）

第十四回新潟県
少年空手選手権大会

六月二十八日（日）。柏崎市総合体育館に於て開催されました。

＝小学生五・六年女子組手の部＝

優秀賞　石田真紀子

＝中学生女子組手の部＝

準優勝　藤井美緒

インターハイ剣道の部に
小須戸っ子出場!!

八月に愛媛県松山市で開催されるインターハイ剣道の部に、小須戸町在住の四名の高校生が出場します。

健闘を祈ります。

◎**出場選手**　（敬称略）

＝女子団体の部＝

石井育見
星田真由美
三浦紗也香

＝男子団体の部＝

岩崎裕介

＝女子個人の部＝

星田真由美

中学校プール
一般開放スタートします

☆**開放期間**

七月十九日（日）から
八月十六日（日）まで
（お盆はお休みします。）

☆**曜日と時間**

①月曜日から土曜日までは
午後五時三十分～七時三十分
午後一時三十分から四時

②日曜日は
午前九時～十一時三十分
午後一時三十分から四時

☆**プール使用上の注意**

◎小学生以下は保護者同伴、又は必ず責任の持てる成人が同伴して下さい。

◎飲酒、喫煙は禁止です。

◎疾病のある人は遊泳できません。

※その他詳細については、プールの掲示物や係員の指示に従って下さい。

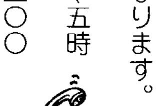
ふれあい電話相談

◆**八月の相談日**
七日㊎・二十一日㊎
二十八日㊎
十四日㊎は、お盆でお休みになります。

◆**受付時間**
午後一時～五時

◆**電話番号**
三八–三三〇〇

●お名前は、言わなくていいです。
●秘密は、固く守ります。



シリーズ「今、子どもたちは」(23)

凧が揚がったよ

小須戸幼稚園

六月末の土曜、緑に囲まれた「しろね大凧と歴史の館」を会場に、親子が一緒になって凧づくりに挑戦しました。

凧合戦を見学したことのある子供たちも大勢いて、種類や形や大きさなどについての知識は豊富なのですが、骨を組んでの凧づくりを初めて経験する園児が大部分でした。

計画はPTAが中心になり現地視察を行うなど綿密に検討していただきました。

館では、経験豊かな指導員から要領を教わりながら手際よく進められました。

父親や小学生の参加もあり「ここは俺の出番」と張り切るお父さんも多く、ほほえましさを感じました。子供たちは芝生の庭で歓声をあげながら糸を繰り出していました。

翌日の日曜日には、梅雨空に勢いよく揚がる凧がいくつも見られました。

コールあじさい
「関東支部大会」に出場！

加藤隆子先生のご指導のもとに、美しい響きで歌い、美しいハーモニーが出せるように会員一同、日々練習に励んでいる「コールあじさい」です。

先生の練習はちょっぴりきびしく、思うように歌えないと落ち込んだりしますが、日々の様々なストレスを忘れさせてくれるので皆さん心を合わせて歌う喜びを味わっています。

四月二十九日、新潟県民会館で開催された「お母さんコーラスフェスティバル」に参加して『雪椿賞』という大きな賞を頂いたことにより、七月五日、山梨文化県民会館に於いて開催された「関東支部大会」に出場いたしました。

この感激を忘れず、いつまでも若々しく歌い続け、輝いていたいと思っております。

文芸欄

川柳

梅雨明けは黒い眼鏡に傘の杖　松沢キヨ
タラップから黒眼鏡追うカメラマン　増井都留
眼鏡かけルーペで覗く頭脳線　我妻清作
本当かな真意を探る眼鏡ごし　加藤米二

短歌

町並みの老舗の屋梁に玄鳥人の出入りに合わせて飛ぶも　村木リツ
手術日をポツリと話す老夫婦待合室の見知らぬ吾に　小林芳子
唄うスター高田浩吉の弟子にして歌吹き込みし杳き日ありき　我妻清作
丹精を込めて育てし雪割草花を摘みたたる孫を叱らず　川内ヒロ

俳句

夫とゐて芍薬の香濃かりけり　井本マツ子
きちきちと葉を剝く音の新キャベツ　佐久間久子
公園の水立ち上げる新樹かな　五十嵐香月
咲きのぼる空の色して鉄線花　田中美根子
どくだみやむかし機町宿場町　内山越楼
花曇り遅れぎみなる鳩時計　吉田美樹子
万緑の麓にのこる芝居小屋　吉沢文子
老鶯や森の深さの五合庵　藤井ハルエ

※公民館休館日のお知らせ… 8月13日(木)、14(金)、15(土)　特別清掃のため。